

2016年5月18日

**=ファン満足度 94%=**  
**リニューアルした「チーズスティック」**  
**最新機器“味覚センサー”でもコクのアップが科学的に証明！**

森永製菓株式会社（東京都港区芝、代表取締役社長・新井 徹）は、濃厚チーズアイス「チーズスティック」のリニューアル発売にともない、味覚分析調査及び実食調査を実施いたしました。その結果、新旧の2商品では科学的な定量分析でも違いがあることが判明しました。また、リニューアル品はファンの満足度が94%という結果になりました。



2016年3月にリニューアル発売した「チーズスティック」。従来品は、クリームチーズ、チェダーチーズの2種類をブレンドしていましたが、リニューアル品はさらに濃厚なゴーダチーズを追加しています。3種類のチーズをブレンドすることで、よりコクがあり、よりおいしいと感じていただけるチーズアイスを目指しました。そこで今回は、リニューアル品で重視したコクを中心に、「科学的データ」「ファンの声」の2つの視点で調査をおこないました。

■ 検証結果① リニューアル品は、甘味と旨味のバランスがとれ、コクがアップ°

■ 検証結果② リニューアル品は、ファンの94%が満足

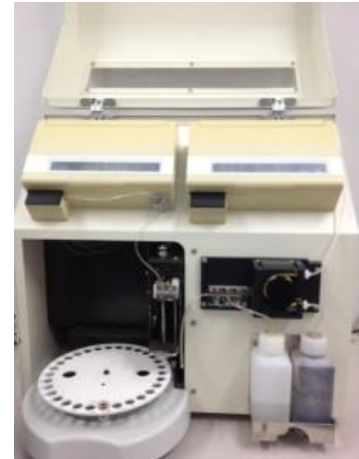
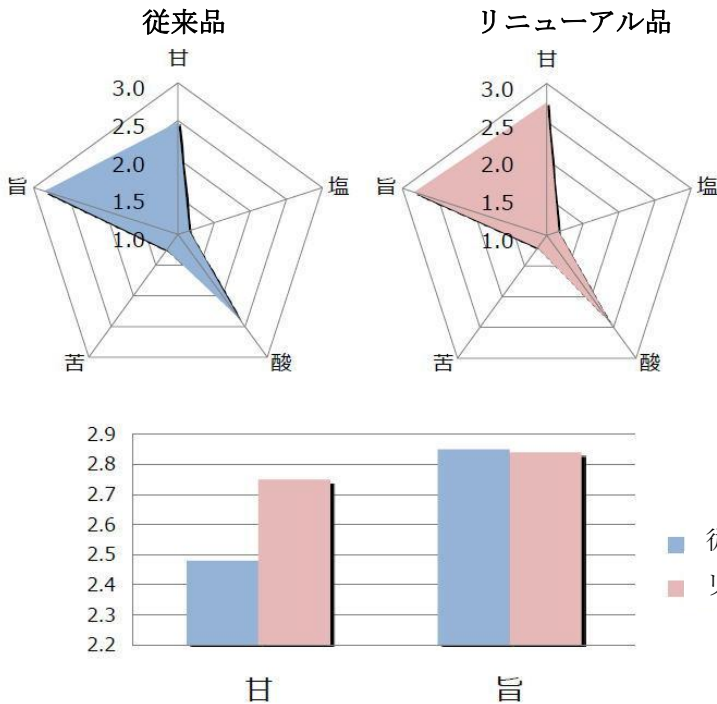
**【検証①】最新機器“味覚センサー”でおいしさを科学的に検証**

「チーズスティック」の科学的なおいしさ検証を行うべく、「味覚分析」の先駆的企業であり、慶應義塾大学発のベンチャー企業 AISSY 株式会社（東京都港区三田、代表取締役社長・鈴木 隆一）に協力を依頼し、味覚センサー「レオ」で分析を行いました。

その結果、リニューアル品は従来品以上に甘味と旨味のバランスがとれ、コクがアップしていることがわかりました。

## <分析結果>

	甘味	塩味	酸味	苦味	旨味	コク
従来品	2.48	1.15	2.35	1.25	2.85	4.76
リニューアル品	2.75	1.16	2.4	1.2	2.84	4.92



### ▲味覚センサー「レオ」

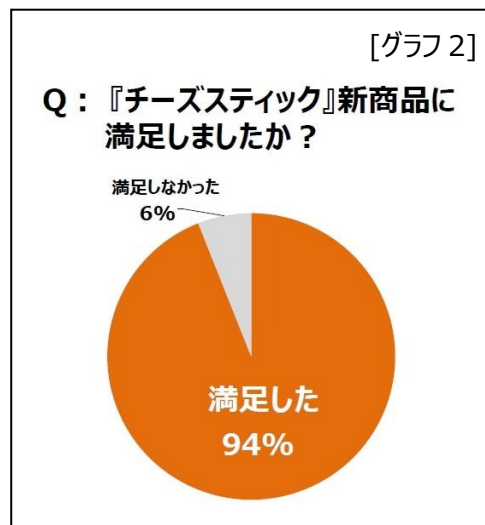
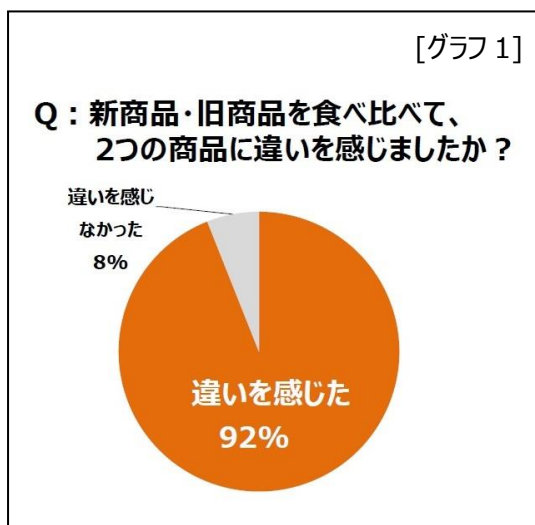
生理学的に位置づけられた味覚を定量的なデータとして数値化することが可能。

▲リニューアル品は、従来品と比べて、甘味と旨味の数値が近くなっています。

味覚センサー「レオ」における数値が近いと、2つの味覚のバランスが取れていると判断できます。

## 【検証②】「チーズスティック」ファンによる新旧食べ比べで検証

20～40代の男女110名の「チーズスティック」ファンによる実食調査として、新旧2商品を食べ比べていただいた上で、アンケートに回答いただきました。その結果、リニューアル品と従来品の「違いを感じた」人は92%（グラフ1）となり、さらに、あらためてリニューアル品を食べた感想を聞いたところ、「満足した」と回答した人は94%（グラフ2）となりました。



具体的な感想としては、下記のコメントがあがっています。

- 「従来品も好きだったが、チーズの香り、コクがバージョンアップしていた。濃厚な味わいがクセになりそう」（31歳・男性）
- 「ゴーダチーズの風味があり、コクと香りが本物のチーズのようでおいしい」（49歳・女性）
- 「3種類のチーズの配合がうまくできていて濃厚でぜいたくな気分になれた」（29歳・男性）

なお、調査回答者に「チーズスティック」のファン歴を聞いたところ、「約1年」(26%)、「約2年」(22%)という回答者が多い結果となりました。中には2007年の発売当初からのファンで「約9年」(6%)という方もいらっしゃいました。

今回の検証結果から、リニューアル品は長く「チーズスティック」をご愛顧いただいているファンの方からも絶大な支持を得られることがわかりました。

#### 【調査概要】

- ・調査期間:2016年4月16日(土)~4月20日(水) ・調査方法:ホームユーステスト(インターネット調査)
- ・調査対象:20~40代 男女110名 ※事前調査で『チーズスティック』が「好きである」と回答した方  
(20代:17名、30代:45名、40代:48名)

#### 【商品概要】

商品名	チーズスティック
商品画像	
種類別	アイスクリーム
内容量	63ml
参考小売価格	130円(税別) / 140円(税込)
発売日	2016年3月~発売中
発売地区	全国・CVSチャンネル
ターゲット	20-30代男女
JANコード	4902888348204